

(江別太小 CS③会議録)

- 出欠確認（ご欠席：林博行様）
- 学校長挨拶
- 委員長挨拶（委員長：矢崎聖順様）
- 日程説明
- 学校関係者評価

※学校からの年間の活動内容報告，学校評価実施報告の後，校長室にて意見交流しながら，学校関係者評価の実施をした。（別紙報告書の通り）

出されたご意見は次の通り

（矢崎様）

- 委員のみんなで協議をして関係者評価を行うことが有意義に感じます。今後もこの形で行って欲しいと願います。
- 先生方の子どもたちへの評価が低いように感じます。もっと子どもたちを評価して欲しいです。
- 子どもたちのあいさつについて，自治会の除雪作業をしている業者の方に褒められました。作業中に通る子通る子，みんな進んであいさつをしており，立派でした。中には「ご苦労様です！」と声掛けする子もあり，自自治会としてとても褒められましたので，学校へお伝えします。

（谷内様）

- 子どもたちのあいさつは，私が接する範囲ではもう少し自らして欲しいと感じます。保安上の問題もありますが，声かけ合いは大切だと思います。
- 近くの公園に，お菓子のゴミが散乱しており，年々多くなってきています。また，水道が出っぱなしだったり，砂場の砂が散らかっていたりします。地域の子どもたちには，公共の場でのマナーをもっと身につけて欲しいと願います。

（辻様）

- あいさつは，進んでしている児童とそうではない児童の差があると感じます。進んでできるようになって欲しいと思っています。
- 地域のスポーツ少年団で指導している精神は，学校の教育目標とリンクすることがほとんどです。今後も協力しながら指導を続けていきたいです。
- 学習指導は，いかに楽しく学ばせるかが大事ですね，今後もよろしくお願いします。

（中村様）

- 自宅の前で庭仕事をしているとき，本校の児童が進んであいさつをしてくれたことがありました。その時は，あいさつだけではなく，「がんばってね！」と声をかけてくれたので，その日はとても温かい気持ちになりました。
- 外で学習していた子どもたちが，自らあいさつをしてくれました。先生たちの日々の指導が生きているのだと感じます。

（岩本様）

- あいさつについては，私と顔見知りの児童の方があいさつをしない傾向にあります。恥ずかしいのか思春期なのか。むしろ顔見知りではない児童たちは，進んであいさつをしてくれます。
- 近くの公園で，年上の子が年下の子へ公園の使い方のマナーについて教えていた場面をみました。とても素晴らしいことだと感じました。
- スキー学習では，うちの子はとても達成感を得ていた様子で，よかったと思っています。

(山崎様)

・先生と保護者と子どもでの、思っていることのギャップは、幼稚園でもあります。それぞれの立場によって感じ方が違うなと思います。

・事故や事件があった際には、大人が子どもたちへすぐに対応することが大事だと思います。今の子どもたちは、失敗や周りの目を気にすることが多いので、はじまりが肝心だと思うので、はじめてのことを大切にしていくことが必要だと思います。

・昔から、この地域の子さちの「良さ」は変わっていないですね！進んであいさつをするなどの良さはこれからも続けて欲しいですね。

(笠川様)

・6年生の娘が、縦割り班活動を通してとても成長させてもらっています。学校外でも他学年の子たちとの関わりや交流が増えたようで、本人も良かったと感じています。

・あいさつは、子どもたちの中にも「知っている人・知らない人」があって、進んであいさつをすることは、不審者と地域の方の区別もあるので、とても難しいことだと感じます。

・登下校について、冬場はともとても怖いと感じます。線路近くは信号機が無い横断歩道ですので、とても心配です。車から歩行者が気づきにくいところを子どもたちは通るので、とても心配です。改めて、学校から通学路の確認をして欲しいと思っています。

(坂東様)

・先生方の自己評価が厳しいのは、有り難いことです。子どもたちが自分の改善点について気づけるようにしてくれているのだと感じます。

・あいさつは、私の塾でも指導を継続しています。大人も子どもたちから、あいさつを受けやすいようにして欲しいですね。あいさつ運動は大人のためにでもあります。

・交通安全については、子どもが自分に注意されている気持ちになりにくいことがあります。家庭も一緒になって指導していきたいものです。

・世の中の風潮にて、指導が温くなることがあります。これにより子どもたちは、事態を甘くみて、真剣になれないことがあります。先生方の厳しい態度も時には必要であると思っています。しかし、子どもたちは一人一人捉え方が異なるので、大人が真剣になることがとても大事だと私は思っています。大人の真剣さは、子どもの興味を引き出す最適な方法です。

(学校長よりまとめ)

・多くのご意見をありがとうございました。あいさつ・交通安全・雪道など、他校でも同様の課題が見受けられますが、本校も同じです。今後もこれらの課題解決に向けて、向き合っていきたいと思っています。

「多様」という言葉があふれるようになりました。これまでの一斉指導では「できないこと」を指摘することが多く、お子さんを追い込むことにもつながります。例えば「元気よくあいさつ」の「元気」の理解も大人と子どもは異なります。教師側がイメージする元気は「声が大きい」とか「笑顔で」とか。それができていないとあいさつが「できていない」となります。学校は、その子にとっての「できる」を見とっていかなければならないと思います。

今回頂いたご意見を、今後に生かして参ります。ご評価ありがとうございました。

地域への部活動の指導移行については、地域の方にも学んでいって欲しい部分です。指導について、学校地域が一体となり、学んでいきたいと思います。